

新農業ビジネスの魅力を紹介

「ただいま大奮闘」

年間五十万人もの来場

者があり注目を集めている三重県阿山町に展開する農業組合法人「伊賀の里・モクモク手づくりファーム」の新農業ビジネスを紹介した「新農業ビジネス 伊賀の里 ただいま大奮闘」

「ただいま大奮闘」(金丸弘美著)が出版された。ファームとそこで働く人々の取材を通して、二十一世紀にふさわしい新農業ビジネスの魅力を紹介している。

地方の活性化が叫ばれて久しいが現実には村、町、郡、市のテーマがなない。結局、「若者が定着しない」「特産品がない」「人が集まらない」といった悲観論が地方ではびこっている。ところがわずか八千人が住む山奥の寒村にすぎない「モクモク手づくりファーム」には年間五十万人もの来場者があり、二十五億円の売り上げがある。そこで働く百八十人の社員の平均年齢は二十七・五歳と若くファーム内は活気があふれている。

伊賀の里「ただいま大奮闘」



こっている。

ところがわずか八千人

が住む山奥の寒村にすぎない「モクモク手づくり

ファーム」には年間五十万人もの来場者があり、二十五億円の売り上げがある。そこで働く百八十人の社員の平均年齢は二十七・五歳と若くファーム内は活気があふれている。

また、農業ビジネスの成功は直接消費者と結びつき、その中から生産を考えた。観光資源があったわけではない。著書ではモクモク手

会員二万八千を集めるまでに成長したと分析している。著者の金丸さんは「世間が農産物や食品に対する信頼がちよう落する中、消費者との顔の見え

モクの存在は、消費者の信頼を揺るぎないものにしていく」とメッセージを寄せている。発行はNAP。定価千五百円(税別)問い合わせはNAP(電03-5695-1788)へ。